別紙５

硫　黄　酸　化　物　排　出　量　明　細　書

１　硫黄酸化物の許容排出量等

1	硫黄酸化物の許容排出量	Q	（Nm^3／時）
2	ばい煙発生施設において１時間に処理することができる原料の量および当該ばい煙発生施設の燃焼施設において１時間に燃焼させることができる燃料の量の合計　（重油換算）	W	（ｋｌ／時）
		WI	（ｋｌ／時）
3	ばい煙発生施設の年間稼働時間の合計	T	（時間）
4	すべてのばい煙発生施設が稼動していない時間の年間の合計	Ti	（時間）
5	原料および燃料の通常の使用量（重油換算）	W	（ｋｌ／時）

２　硫黄酸化物の排出状況等

新増設、新増設以外の別	ばい煙発生施設の種類	特定工場における施設番号	原料の処理能力および燃料設備の燃料の燃焼能力（重油換算ｌ/時）	使用する原料および燃料			原料および燃料の使用量（重油換算ｋｌ）			稼働時間（時間）			原料および燃料の通常の使用量（重油換算ｋｌ/時）①／②	硫黄酸化物の排出量（Nm^3/時）		参考事項
				種類	硫黄含有率（％）	比重	非暖房期（４月～10月）	暖房期（11月～3月）	計①	非暖房期（４月～10月）	暖房期（11月～3月）	計②		最大	通常	

備考

１　２の表の使用する原料および燃料の種類の欄には、硫化亜鉛鉱、硫化ニッケル鉱、Ａ重油、Ｂ重油、Ｃ重油、原油、灯油、プロパンガス、ブタンガス等原料および燃料の種類を記載すること。

２　２の表の使用する原料および燃料の硫黄含有率（％）の欄の記載に当たっては、重量比または容量比の別を明らかにすること。

３　排煙脱硫装置が設置されている場合には、脱硫率を２の表の参考事項の欄に記載すること。